



2013. 4. 21
NO. 341

日本共産党 高知県議会 活動報告ニュース 県議会控室 823-9524 高知市丸の内1-2-20
872-9324 高知市福井町1475-8

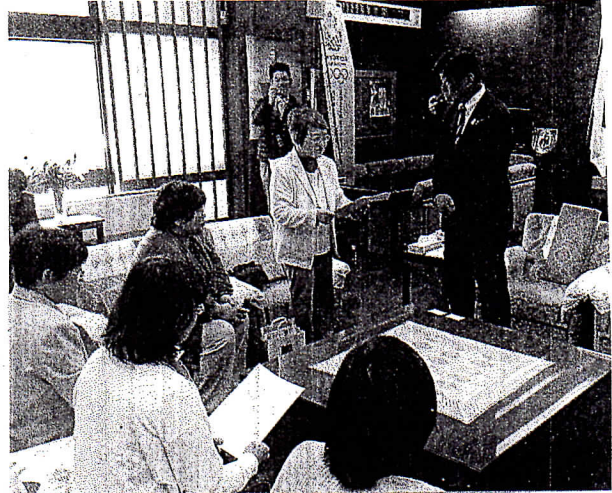
この回の議会論戦の中から

周産期医療・母子保健拡充へ体制を強化

出産できる産婦人科は、県内でわずか17か所。医師の確保と出産できる医療機関の体制を整え、母子の命と子どもの成長・発達を求めました。

知事は、「分娩を取り扱う医療機関がこれだけ減少する中で、県民の不安感や負担感は大い。これをなんとかしていくことが、我々、県としての責務」と答え、「周産期医療体制の確保」を図るために平成25年度からの新しい柱として、庁内に「周産期・母子保健推進室」を新たに設置。

第1に、人材確保とNICUをはじめとする施設の整備を行っていくこと。第2に、「母体管理の徹底」を図ることで、妊婦検診についても更に内容を充実させていくということ。第3に、「健やかな子どもの成長・発達への支援」を図るために、各福祉保健所に専任職員を配置することで、体制も強化して、母子保健体制の充実を進めていくことを表明しました。



森田議長（右端）に要望書を渡す山岡会長ら＝15日、高知市

自民・西岡県議の暴力団問題

議会は責任果たして

高知

新婦人など 4団体要望

高知県でバスや電車を運行する土佐電気鉄道（本社・高知市）の竹本昭和社長「辞任の申し出」が昨年5月に株主との面談で元暴力団組長「故人」などの関係を語示したとされる問題で15日、新日本婦人の会高知県本部など4団体は、高知県議会に対し「厳正な対処を求め、一要望書を森田英二県議会議長に提出しました。

森田議長は、暴力団排除条例の運動の先頭に立つべき西岡県議と暴力団との不適切な関係が明らかになったとして、「県議会は暴力団排除条例を制定した議会の権威にかけても責任ある対処方策を県民に示す必要がある」と求めています。

新婦人の山岡美和子会長らが県議会に出向きました。

応対した森田議長は、要望書の内容は多くの県民の意識だろうとしたうえで、「最終的には本人が判断する問題」とのべました。

高知県議会はこの問題を受け、3月27日に「暴力団排除・真相究明をめざす決議」を全会一致で可決しました。西岡県議は退席しています。

てくてく歩記 (338)

突然臨時議会議が開かれ、大論戦が
おきまじ続きました。 いたい。高知県
は、どこにもおいて歩むべきか... 知事
法令遵守という声があふれきつてい
ない議会問題。 正論が。 正論的配
慮で後退するべきか。 本日は県民の支持
をえられずおなか。 和はありたい！
と思うのです。 次はこれに決着を。